

『令和7年度東北地区サイエンスコミュニティ研究校発表会』
(東北地区SSH指定校課題研究発表会)に参加してきました

令和8年1月30日(金)～1月31日(土)、山形県酒田市にある酒田総合文化センターを会場に令和7年度東北地区サイエンスコミュニティ研究校発表会が開催されました。この大会は、東北地区のSSH指定校16校が一同に会し、各校で取り組んでいる生徒の課題研究について発表し、情報交換する貴重な場となっています。

1月30日には、開会行事、各校の課題研究紹介とともに、基調講演が開催されました。基調講演では、株式会社メタジェン代表取締役社長 CEO 兼 慶應義塾大学先端生命科学研究所 特任教授 福田 真嗣 氏を講師に、「茶色い宝石が切り拓く！病気ゼロ社会の実現」という演題でご講演頂きました。福田 真嗣 氏は、腸内フローラとヒトの健康に関する研究で国内外から注目を集めており、講演会では、腸内細菌が特定の病気に果たす役割について高校生にもわかりやすく説明して頂くとともに、病気ゼロ社会に向けた研究成果や企業との共同研究で開発された商品についての紹介がありました。

1月31日には、時間帯を分け、各校が取り組んでいる課題研究についてのポスター発表を行いました。本校からは、自然科学部に所属する1年生の生徒が代表して参加し、化学班(3名)が「ゲーミング反応の利用」、地学班(2名)が「堤川の水質について」というタイトルで研究発表を行いました。生徒は緊張した様子もありましたが、自分たちが取り組んできた研究内容について丁寧に説明し、聴講者からの質疑に真摯に対応していました。研究の進展につながる大変有意義な機会となりました。

○ 大会の様子

